

私たちは、
「ありがとう」を贈り、「ありがとう」を頂き、
「ありがとう」であふれる空間を作り続けます。

豊川さくら病院 理念

リハビリテーションとは



リハビリテーション科部長

医師 上田 貴之

リハビリテーション（rehabilitation）の語源は、ラテン語でreは「再び、戻す」とhabilisは「適した、ふさわしい」という語で、「再び人間らしく生きる」、「再びできるようにする」という意味です。

中世では名誉・利権を回復するという意味で使われ、かのジャンヌ・ダルクが1456年にローマ教皇に無実であると判決を下されたとき、「リハビリテーション」と呼ばれました。

現在使用している「障害者に対する機能回復、社会復帰」というような意味になったのは、第一次世界大戦のころからで、米国において戦傷兵に対する復帰プログラムとして使われた時と言われています。

現在、広く普及しているリハビリテーションの定義は、

「リハビリテーションとは、能力障害あるいは社会的不利を起こす諸条件の悪影響を減少させ、障害者の社会的統合を実現することをめざすあらゆる措置を含むものである。リハビリテーションは障害者を訓練してその環境に適応させるだけではなく、障害者の直接的環境及び社会全体に介入して彼らの社会統合を容易にすることを目的とする。障害者自身、その家族、そして彼らの住む地域社会はリハビリテーションに関係する諸種のサービスの計画と実施に関与しなければならない。」
(WHO 1981)

であり、現在の日本においては、職場復帰や経済的自立を支援する目標にととどまらず、障害の原因となる疾病などの予防や治療のためのリハビリテーションも図られるようになってきています。

時代と共にリハビリテーションは変化してきますが、「患者さんの笑顔のために」という気持ちを忘れずにリハビリを提供できるように頑張っていきたいと思います。

ENJOY! 行事食

敬老の日 行事食のご紹介（9月15日）

栄養科 管理栄養士
副主任 牧原 萌

委託給食会社のご協力のもと、敬老の日に合わせて行事食を提供しました。
今回の献立は、**赤飯風・赤魚の塩こうじ焼き・茶碗蒸し・すまし汁・抹茶ババロア**
（※もち米を使用していないため「赤飯風」としています）

毎年、赤飯風と茶碗蒸しは、患者様に大変喜ばれるメニューです。食事を通じて、季節の移ろいを感じていただけるよう、スタッフ一同心を込めて準備いたしました。



次回の行事食は、10月31日のハロウィンに合わせた手作りデザートを予定しています。
今後も、長期入院中の患者様にも食事を楽しみにしていただけるよう、月に一度の行事食や季節のデザートを継続して提供してまいります。

リハビリテーション部における地域貢献活動の取り組み

リハビリテーション部 理学療法士 室長 小田 桂嗣

当院のリハビリテーション部では「地域の皆さまとのつながり」を大切にしながら、医療を通じた地域貢献を目的として、毎年さまざまな活動に取り組んでおります。

今回は2024年度に実施した地域貢献活動をご紹介します。

活動区分	内容概要	実施件数
地域健康講座	地域高齢者の健康維持・増進を目的に、健康知識の普及と体操教室を実施	9件
児童支援訪問	支援が必要なお子様の集団生活適応を支援 保育園等で保育士へ専門的アドバイスを提供	11件
教育機関との連携	大学にて非常勤講師として、療法士育成に貢献	29件
社会復帰支援	受刑者の生活支援・社会復帰を目的に、リハビリや生活指導を実施	13件



その他、児童発達支援センターへの派遣事業、地域ケア会議への参加、在宅患者を抱えるご家族への講演会、豊橋まちなか図書館での講師派遣事業などを実施しました。

これらの活動を通じて、地域社会とのつながりを深め、これからも地域に寄り添い安心と笑顔を届ける活動を続けてまいります。

薬剤科のご紹介

薬剤科 薬剤師 礒 淳子

豊川さくら病院薬剤科では、医師の処方に基づく調剤業務に加え、薬の適正使用を支える情報提供や薬剤管理を行っています。薬剤師は、薬の使い方や注意点、副作用などを医療スタッフと共有し、安全で効果的な治療を支援しています。

近年は医薬品の供給が不安定になることもありますが、必要な薬を安定して届けられるよう、在庫管理や代替薬の提案など、日々工夫と努力を重ねています。

薬剤科は、医師・看護師などと連携しながら、チーム医療の一員として、患者さんの健康を支える重要な役割を担っています。



豊川さくら病院 基本方針

1. 心通う医療や福祉を通じて、心と身体の回復を図れるよう一緒に歩みます。
2. 生活の中で必要な活動に結び付ける回復リハビリテーションを提供することにより、患者様の日常生活機能が向上するように努めます。
3. 社会生活の中で、人が人らしく生きて暮らしていくために、その人らしい社会生活行為の継続が可能となるように努めます。
4. 多職種協働により質の高い医療及び福祉を提供し、患者様利用者様の生活支援に努めます。
5. 地域の医療・福祉関連施設と連携し、それにより生み出される医療及び福祉を、患者様に向けて全力で提供できるように努めます。
6. 私たちと患者様との回復リハビリテーションによる共生の下には、「ありがとう」があることを常に忘れません。